

算数（第1回）

問題	得点率 (%)	問題	得点率 (%)	問題	得点率 (%)	
1	(1)	3	(1)	4	(3)	
	(2)		(2)		(1)	
2	(1)		4	(3)	5	(2)
	(2)			(4)		(3)
	(3)	(1)	(1)			
	(4)	(2)	(2)			

合格者最高点 100
合格者最低点 50

1 計算問題です。確実に得点できるように、練習しておきましょう。

2 一行題（特殊算）です。標準的な問題ですので、ぜひ正解を積み重ねてほしい4題です。

- (1) 倍数算です。検算をして、求めた答えが正しいか確認できると良いでしょう。
- (2) 差集め算です。品物Aと品物Bの個数を1個入れ替えたとき、代金がいくら変化するかに注目します。よくできていました。
- (3) 整数の問題です。元の整数は半分にできることから、一の位の数は偶数です。このように条件に合う数を決めていきます。
- (4) 仕事算です。大変よくできていました。

3 一行題（特殊算）です。応用的な問題ですので、1題でも多く正解を積み重ねてほしい4題です。

途中を見る問題が2題あります。しっかりと途中の考え方を書くようにしましょう。

- (1) アンパンを基準に金額を考えると3種類のパン1個の金額が求められます。アンパンとクリームパンを同じ個数買うので、メロンパンを2個セットにして考えます。
- (2) 平面図形の面積を求める問題です。共通な底辺をもつ2つの三角形に分けて考えることがポイントです。
- (3) 食塩水の濃度に関する問題です。食塩水の量に着目します。よくできていました。正解した受験生は、受験生全体の63.4%、操作ごとに食塩の量や濃度などが求められていて部分点を得た受験生は、受験生全体の27.7%でした。
- (4) 速さに関する問題です。3人の動きを図にまとめるなどしてAさんがBさんやCさんと出会うとき、向きを変えるので、それぞれの移動した距離を求めていきます。正解した受験生は、受験生全体の48.1%、AさんがBさんやCさんと出会ったとき、移動した時間や距離などが求められていて部分点を得た受験生は、受験生全体の38.5%でした。

4 0～9のシールを使い、1～240の番号を作る問題です。

- (1) 何枚のシールを使ったか求める問題です。1桁の数は各1枚、2桁の数は各2枚、3桁の数は各3枚使用するのそれぞれ何個の整数があるかを考えます。
- (2) シールに書かれている数字の和を求める問題です。1桁、2桁、3桁に分けて考えたり、一の位、十の位、百の位に分けて考えるなど場合分けをして求めていきます。最後まで正確に計算することが大変だったようです。正解した受験生は、受験生全体の5.0%、場合分けをして部分的にまとめることができている部分点を得た受験生は、受験生全体の56.6%でした。
- (3) 2のシールを何枚使ったかを求める問題です。(2)と同様に、数え忘れ・重複のないように整理して考えます。

5 グラフから状況を読み取る問題です。流水算の考え方を利用します。

- (1) ボートPの静水時の速さを求めます。川を上っているときと下っているときの速さを利用します。よくできていました。正解した受験生は、受験生全体の73.9%、上りの速さや下りの速さなどが求められていて部分点を得た受験生は、受験生全体の11.7%でした。
- (2) ボートQがB町に何分間とどまっていたかを求めます。(1)から川の流れの速さを求め、ボートQ下りの速さを求めます。320分からさかのぼるとボートQがB町を何分に出発したかが分かります。
- (3) ボートPとQが2回目に出会った地点を求める問題です。ボートPが20分早く川を上り始めているので同時に動いているときと分けて考えます。(1)、(2)の結果を利用するので途中で間違ってしまった受験生は正解を導くことが難しかったようです。